

2025 年 8 月 4 日

各 位

大成ロテック株式会社
代表取締役社長 加賀田 健司

大成建設グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の C02 削減目標が SBTi から Net-Zero Target の認定を取得

大成ロテック株式会社(本社：東京都新宿区 代表取締役社長：加賀田健司、以下「当社」)は、当社が属する大成建設グループの長期環境目標である「TAISEI Green Target 2050」の 2030 年及び 2050 年 C02 削減目標が国際的なイニシアティブである SBTi^{※1}から、“NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS^{※2}” 及び “Net-Zero Target^{※3}” の認定を取得いたしましたことをお知らせします。

■大成建設グループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」の C02 削減目標

基準年：2022 年度	2030 年	2050 年
スコープ 1 + 2	▲ 4 2 %	C02 排出量 0
スコープ 3 (カテゴリ 1+11)	▲ 2 5 %	サプライチェーン C02 排出量 0

今後も当社は、「人々のためにより良い環境を創造する」の基本理念のもと、「持続可能な環境配慮型社会の実現」を目指し、事業を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



※ 1 SBTi (Science Based Targets initiative) :

企業の気候変動に関する GHG 削減目標がパリ協定の求める水準と整合しているかを検証、認定するイニシアティブ。CDP、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、WE MEAN BUSINESS COALITION、世界資源研究所 (WRI)、国際自然保護団体 (WWF) の 5 団体が運営。

※ 2 NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS :

企業が科学的根拠に基づいて、パリ協定の目標である“世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて 1.5°C に抑える”ことに貢献するために設定した、5~10 年後の温室効果ガス排出量削減目標。

※ 3 Net-Zero Target :

企業が科学的根拠に基づいて設定した、2050 年までに Scope1,2,3 の全ての温室効果ガス排出量を実質ゼロにする (ネットゼロ) 目標。

以上